

4.美術資料(37件164点)

通番	版No	表題	年代	西暦	差出 (作成)	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
70	122	紙本墨書南無天満大自在天神書等			伝尊円法親王等		【122-1】軸装 【122-2】、 【122-4】切紙 【122-3】、 【122-7】継紙 【122-5】 【122-6】 【122-7】印刷物 【122-8】紙製お守り	【122-1】93.9×22.2。全体 【122-2】軸長36.3 【122-3】26.2×18.2 【122-4】18.0×53.8 【122-5】18.3×41.3 【122-6】24.0×35.6 【122-7】24.3×16.5 【122-8】18.0×194.6 【122-8】11.3×4.3	8		【122-1】南無天満大自在天神 【122-2】尊円法親王揮毫書鑑定書：陳人岡種 明治27年6月 【122-3】箱書誰かに書き直させくだされたく書状：明範→五十嵐14日、端裏書異筆明治27年 【122-4】尊円親王真跡に付重宝なすべき品に付書状：持念→和絃大人 大正7年10月8日 【122-5】軸説明書：高(マ)蓮院尊円法親王真書 【122-6】軸説明書：第107代御陽成天皇御宸筆(マ) 【122-7】卓机かゝりの事図 【122-8】御守護：虫損あり 木箱：39.0×7.5×7.0(蓋表墨書「青蓮院尊円法親王真跡」) ・尊円親王(1298～1356)は伏見天皇の第6皇子、御家流(青蓮院流)の祖。
71	67	板地著色・墨画「孝子九兵衛母を背負う図」	(文政8年頃カ)	(1825カ)	西村十丈園		板	各27.4×18.6	2	2枚	【67-1】右図・孝子九兵衛母を背負う図(著色)。篤好が『三州孝子伝』に収録した岩坪村(高岡市)久兵衛を描く。 【67-2】左図・松図(墨画)。十丈筆。 ・西村十丈園(?～1830)は画家、俳人。伊勢の人で名は應、字は天然、号を十丈園と称し四条派の絵を描いた。
72	74	紙本墨書尊朝親王御伝流極	文政13年10月25日付	1830	龍池院宮尊朝親王御伝流第7世高田与八郎、源祐久		切紙	21.3×27.4	1		尊円親王御真跡極 包紙：36.0×23.8(墨書「鑑定一書」) 虫損あり。 ・尊円親王(1298～1356)は伏見天皇の第6皇子、御家流(青蓮院流)の祖。
73	43	紙本墨書三十六人歌仙一卷池田松齋先生筆跡添書	天保3年4月	1832	五十嵐小豊次		切紙	17.6×20.6	1		包紙：24.4×18.1(墨書「池田松齋先生筆跡義経合状之一巻 添翰書通」) 虫損あり。 ・池田松齋(生没年未詳)は本阿弥光悦の高足。初め豊臣氏の右筆であったが、大坂落城後前田利常に仕え後光高及び綱紀の師となった。松翁軒とも。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
74	65	紙本墨書片敷の友(写本等)	(嘉永3年頃)	(1850)			縦帳	書帙16.6×12.4×5.3。 【65-1】 【65-2】 【65-3】 【65-4】 【65-6】16.6×11.8 【65-5】 【65-9】 【65-10】16.5×11.9 【65-7】16.6×11.4 【65-8】16.4×11.9	10		【65-1】『伊勢物語』 【65-2】『春曙草紙』 【65-3】『万葉集類葉鈔・万葉長歌』 【65-4】『大井河行幸序(他)』 【65-5】『蟻通之記(他)』 【65-6】『養老和歌集』 【65-7】『古今和歌集』 【65-8】『野わけ(他)』 【65-9】『竹取物語』 【65-10】『ははきぎ』 嘉永3年10月 ふすしのや篤好。9冊は墨書写本。但し【65-7】『古今和歌集』のみ版本。 帙: 16.8×12.3×5.4(帙表貼紙墨書「片敷儂友」、帙裏罫紙貼紙「万葉類葉鈔、古今和歌集、蟻通之記等」) ・篤好が旅の友として各少本を作成。まとめて携帯したと伝わる。
75	66	紙本墨書『百体百人一首』(写本)	安政7年3月	1860	五十嵐篤好臨書		縦帳	28.0×20.9	1	54丁	表紙: 墨書「篤好大人古筆 百体百人一首」 見開き: 墨書「百体百人一首」安政7年3月臨書之 金城客中 香瀬 篤好「百体百人一首 董齋□□」 奥書: 墨書「栗田御殿真門 芝泉堂川陽谷書 判 嘉永戊申南呂」 ・董齋は松本董齋カ。松本董齋は江戸時代後期の書家。?～明治3(1870)年4月25日死去。 ・芝泉堂は、三重出身の書家坂川陽谷(1778～1849)の書塾。
76	107	紙本墨書「君が代」「長生殿」	江戸後期		五十嵐篤好		軸装	38.0×22.5。全体118.5×27.6 軸長32.3	1		題箋:「篤好大人真書 君が代」 木箱: 34.7×6.2×5.3(蓋表墨書「篤好大人きみか代の歌」)
77	117	紙本墨書和歌(桃桜の歌)	江戸後期		富士谷御杖		軸装	106.0×24.1。全体179.7×36.2 軸長42.0	1		「桃さくら 花はいつれと たふもなそ 恙なしこそ めかれせられね」 外題:「富士谷御杖大人桃桜の歌」 木箱: 45.5×8.9×7.5(蓋表墨書「富士谷御杖大人桃桜の歌」) ・富士谷御杖は明和5(1768)年～文政6(1823)年の国学者。
78	121	紙本墨書漢詩三行書	江戸後期		中臣御杖		軸装	27.0×37.3。全体97.5×48.9 軸長54.8	1		「或有所成、或有所不成」。『日本書紀』卷1の少彦名神の言葉。 外題:「富士谷大人之書」 ・富士谷御杖は明和5(1768)年～文政6(1823)年の国学者。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
79	123	紙本墨書「大己貴神少彦名神」	江戸後期		五十嵐篤好		軸装	91.8×30.3。全体168.5×42.7 軸長47.5	1		朱文方印「篤好」。 木箱:49.6×8.7×8.3(蓋表墨書「御神號一幅 篤好書」) ・「大己貴神」(おこなむちのかみ)は大国主神のこと。「少彦名神」(すくなひこなのかみ)は記紀や「風土記」「万葉集」などに登場し大己貴神と組をなす。
80	124	紙本墨画・墨書蘭図(和歌讃)	江戸後期		五十嵐篤好、斐子		軸装	103.8×27.1 全体177.5×36.8軸長42.0	1		篤好歌「人しらぬ深き谷にも咲いでてひとり薫れる花にやはあらぬ」 右下:款記「斐」。朱文方印「斐」。 外題:「篤好大人歌同夫人画」 木箱:44.8×8.8×7.6(蓋表墨書「篤好大人之讃歌斐子夫人蘭之画一幅」、蓋裏墨書「此幅表具の錦は夫人の帯を以て仕立てたるものと伝ふ 和絃記」) ・斐子は五十嵐篤好夫人。 ・和絃は五十嵐家11代政雄(1850～1934)。篤好3男。石川・富山県議。
81	86	紙本墨書篤好詞	江戸後期		五十嵐篤好		卷子	99.6×13.6。全体157.0×15.3 軸長18.8	1		「雪のあした月のゆうへはさらなり雨にも風にも似た・・・」 中央下:款記「篤好」。 外題:「篤好大人竹之詞」
82	106	紙本墨書和歌短冊「山」	江戸後期		賀茂真淵		軸装	52.4×24.2。 短冊36.0×5.8。全体126×26.8 軸長31.0	1		山「ちはやふる神のしつめしふたら山ふたたひとらす御代はここかし」 左下:款記「真淵」。 外題:「真淵翁山詠 脩竹園覚道賞」 二重箱:37.0×8.5×6.5(蓋表墨書「真淵翁短冊巻幅」、蓋裏墨書「裏昭和7年11月石橋氏口之 五十嵐蔵」) 木箱:33.0×6.3×4.4 二重箱破損あり ・賀茂真淵(1697～1769)は国学者、歌人。
83	64	紙本墨書和歌等短冊色紙帳	(江戸後期)				色紙帳	41.0×25.0	28	8丁	富士谷御杖和歌短冊、五十嵐篤好和歌色紙、望月幸智和歌色紙等 短冊・24点、色紙・4点、小計28点 表紙:貼紙墨書「短冊色紙」 ・富士谷御杖は明和5(1768)年～文政6(1823)年の国学者。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
84	71	紙本墨書今右手本抜粋	(江戸後期)		五十嵐篤好		縦帳	28.2×20.3	1	37	表紙:墨書「篤好大人筆今右手本抜粋」 奥書:石川柏山書。石山(ママ)白山肉筆之一卷臨之畢(篤好)花押 ・石川柏山は1665～1732年江戸時代の書家。出羽の人。
85	97	紙本墨書一家和合の歌	(江戸後期～明治後期)		岩倉具定		軸装	135.5×32.2。全体196.0×46.0 軸長52.0	1		一家和合「波風もなき家路に来て忍ぶればむれつゝあそぶ友ちどりかな」 左下:款記「具定」。朱文方印「山口」、白文方印「源具定童カ」。 外題:「岩倉具定公の歌」 ・岩倉具定(1852～1910)は具視の二男。公爵、宮内大臣。
86	98	紙本墨書伏木十勝之一有磯漁火詩	(江戸後期～明治後期)		鱸松塘		軸装	109.5×41.0。全体180.0×41.0 軸長44.7	1		「夜半酒醒間倚樓カ／紛々漁火乱汀洲／莫為孤客天涯想／不是楓橋於泊舟」(七言絶句)「伏木十勝之一有磯漁火詩録以為五十嵐君属 松塘初史」 白文方印「鱸印」、朱分方印「湖□□□」。 外題:「松塘初夫之詩」 ・鱸松塘(1824～98)は漢詩人。
87	90	紙本墨書和歌(夏川)	江戸後期～大正		前田利嚳		軸装	135.0×32.2。全体195.5×46.0 軸長51.8	1		夏川「水はみれと□□るかれて夏川のさゝれに咲りかはらなでしこ」 左下:款記「正三位利嚳」。朱文方印「前田利嚳」、白文方印「□心之印」。 外題:「前田利嚳公夏川の歌」 ・前田利嚳(1841～1920)は大聖寺14代藩主。加賀12代藩主前田斉泰の7男。
88	102	絹本彩色花図	明治16年	1883	村田香谷		卷子	117.7×10.7。全体13.8×144.2 軸長13.8	1		「四時花果□為盆玩□為瓶賞以為不斷之友有句云世間偏覺友情薄翻向花中□□来 明治癸未冬抄写富山最中 鈴堂学契雅属香谷田叔」 朱分関防印「酒酢□筆」、白文方印「田□之印」、朱分方印「香谷」。 外題:「村田香谷十友カの図携帯額」 ・村田香谷(1831～1912)は日本画家。名は叔。香谷田叔は村田香谷の署名。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
89	104	印刷皇大神宮御遷宮真図	明治42年2月28日	1909			卷子	311×20.8。全体326.0×20.8軸長23.2	1		「皇大神宮御遷宮真図」著作兼印刷人伊藤末次郎、発行人伊藤生三、明治42年2月28日発行 外題：印刷「皇大神宮御遷宮真図」 ・仮105と同包にあり。
90	96	紙本墨画淡彩花鳥図	明治43年3月	1910	五十嵐政雄写		卷子	35.2×511.0。全体35.2×538.8軸長35.5	1		「香林祥集図 万暦辛丑霜降前二日写祝 心翁老祖台大人七十米慶 汝(カ)南周之晃 鏡波口史所蔵出口見跡定遠方談政誌 明治43年3月写之臥牛」 白文方印「臥牛」、朱分方印「雉岡」。 外題：「香林祥集図」 ・臥牛は五十嵐政雄号。政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。
91	120	紙本彩色本居宣長画像	大正12年3月	1923	五十嵐政雄		軸装	127.0×41.3。全体181.5×52.0軸長58.0	1		左上端：本居宣長の略歴。「この画は安政2年61歳の時のものにして原図には「しきしまのやまと心を人とは」朝日ににほふ山さくらはな」の自詠を題せり 大正12年3月写」 右下端：款記「臥牛謹写」。白文方印「臥牛」、朱分方印「雉岡」。 外題：「本居大人肖像」 ・臥牛は五十嵐政雄号。政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。 ・本居宣長(1730～1801)は国学者。
92	92	紙本淡彩荷田春満画像	大正12年3月	1924	五十嵐政雄		軸装	127.8×42.0。全体179.0×50.2軸長56.0	1		左上端：荷田春満の略歴。「この画像は文政13年羽倉信美か本居大平の委嘱に依り該尚友をして画かしめ賛を加えたものなり 大正12年3月写」 右下端：款記「臥牛謹写」。白文方印「臥牛」、朱分方印「雉岡」。 外題：「荷田春満大人画像」 ・臥牛は五十嵐政雄号。政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。 ・荷田春満(1669～1736)は国学者・歌人。国学の四大人の一人。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
93	95	紙本彩色平田篤胤画像	大正12年3月	1924	五十嵐政雄		軸装	128.2×42.0。全体180.0×50.5 軸長56.2	1		左上端:平田篤胤の略歴。「本図は平田篤胤氏蔵する処に依り他の複本を以て之を参酌す 大正12年3月写」 右下端:款記「臥牛謹写」。白文方印「臥牛」、朱分方印「雉岡」。 外題:「平田篤胤大人画像」 ・臥牛は五十嵐政雄号。政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。 ・平田篤胤(1776～1843)は国学者・国学四大人の一人。
94	99	紙本墨画竹図	(明治～昭和)	1946	村松春水		軸装	40.0×27.0。全体91.0×31.4 軸長35.0	1		左端:「不醜而文竹瘦而寿 本波先生話得最佳也 八十五口馬角克人」記 白文方印「百」、朱分方印「口」。 軸裏:「昭和21年5月市内罹災諸公慰問贈呈用。筆者は村松春水翁85歳。伊豆下田に僑寓。田近庄次朗附志→千石町五十嵐啓二」 破れ、汚れ、本紙外れあり。 ・村松春水(1863～1952)は医師、作家、郷土史家。
95	91	絹本淡彩達磨図	近代		山岡直記		軸装	123.0×40.0。全体178.5×51.8 軸長57.4	1		「口壁修業何歳口無得只塙掲起死回口詰起之妙」 款記「從三位子爵山岡直記畫賛」。朱文方印「口陽口湖子爵山岡直記之章」。 外題:「山岡氏達磨」 ・山岡直記(1865～1927)は山岡鉄舟の長男。
96	73	紙本墨書・淡彩色紙等書画一括	(近代)		臥牛(五十嵐政雄)		色紙、切紙等		28		臥牛筆色紙6枚・臥牛カ筆色紙4枚、大塚桂堂1枚、梶野安輝1枚等 ・臥牛は五十嵐政雄号。政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。
97	131	紙本墨書和歌短冊	(近代)		五十嵐政雄、在田清二、岩城甫友等		短冊、切紙等		57		短冊52枚、短歌推敲、祝詞等切紙5枚 木箱:42.5×9.0×5.0 ・政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。
98	119	紙本彩色五十嵐篤好画像	昭和初期		五十嵐臥牛(政雄)		軸装	126.3×39.2。全体185.8×51.7 軸長52.0	1		白文方印「和絃之印」、朱文方印「臥牛」。 左上端:五十嵐篤好の略歴。 外題:「篤好翁肖像」 ・臥牛は五十嵐政雄号。政雄(1850～1934)は五十嵐家11代。篤好3男。石川・富山県議。

通番	仮No	表題	年代	西暦	差出（作成）	宛所	形態	寸法	数量	丁数・枚数	備考
99	118	絹本墨画淡彩束帯姿図			土佐満磨		軸装	30.5×21.7。全体113.2×31.0 軸長35.2	1		外題:「天満宮」 木箱:38.0×6.7×6.0(蓋表墨書「土佐満磨天満宮之画幅」、蓋裏墨書「家宝持伝之品 五十嵐蔵」)
100	3	紙本墨書篤好大人贈位を祝す歌					短冊	36.0×6.0	1	1枚	表題のみ。祝歌なし。
101	100	紙本淡彩笹に短冊図					軸装	32.5×22.4。全体85.5×27.4 軸長30.6	1		
102	101	紙本墨書竹図			澤田		軸装	99.4×13.7。全体150.0×15.2 軸長18.7	1		朱文方印「碧」、白文方印「口」。 外題:「澤田氏竹」
103	103	紙本墨書梅図			櫻谷		軸装	119.0×14.0。全体147.5×19.5 軸長22.0	1		「不受塵埃半點侵竹籬茆舍自甘心」 款記「櫻谷録」。朱文方印「櫻」「谷」。 梅図横に白文方印「□□□□」、 関防印「□□」。 外題:「櫻谷賛」 破れあり。
104	105	絹本墨画梅図					まくり	全体93.0×8.9	1		款記「千里越路雪松洲写」。朱文方印「松洲」。 ・松洲は斎藤松洲カ。日本画家。明治3年(1870)大阪生まれ。歿年不詳。 ・仮104と同包にあり。
105	1	紙本墨書歌帳合綴					縦帳	10.7×10.4	1	12丁	「源氏のうた 全」31丁、「伊勢物語の歌」38丁、「歌合」52丁 表紙:墨書貼紙「源氏のうた 全」、墨書「伊勢物語の歌」、「歌合」
106	94	紙本墨書彼清麻呂の歌			吉良園竹 筆カ		軸装	134.5×29.5。全体196.3×43.2 軸長49.0	1		「おむのため君こそ清き若を捨てあまつひつきはけかきゝりけれ」 右彼清麻呂門、吉良園竹 印なし。 外題:「狩谷大人清麻呂之歌」 軸「彼」と外題「狩」相違あり。